

「市立幼稚園・保育所の再編を考える」

第1回 タウンミーティング開催 H20.11.15(土)午後1:30～(午後2:30～ 質疑応答)

質問者	<p>本日は、こういう機会を設けていただきありがとうございます。</p> <p>小学校に1人、保育所に2人、子供を通わせている母親です。そもそも、公立幼稚園が2年保育のままなのはなぜなのかということを中心に理由を聞いたことないので聞いてみたい。子育てしている母親の中で、私立幼稚園ではなくて公立幼稚園に通わせたいと思っている方は、あと何年で公立幼稚園に通えるのか、3年保育なら喜んで公立幼稚園に入園させるのにと考えている方もいますし、5園しかない私立幼稚園の入園させるためのノウハウをなんとか掴みたいと必至になっているお母さんが多いんです。そして、私立幼稚園の抽選に溢れてしまった場合、そのお母さん達は、船橋市の幼稚園の空きを必至になって探している。習志野市に住んでいながら、近隣市の幼稚園を必至になって探しているお母さん達の姿を見ると、保育のニーズが幼稚園の充実にあるのではないかと思うのですが、その点に関して事情や3年保育にしない理由をお聞かせ下さい。</p>
司会	<p>公立幼稚園は、現在は2年保育だが、なぜ3年保育に取り組まないのかというご質問ですが、行政側の回答をお願いします。</p>
市	<p>3年保育につきましては、私立幼稚園は昭和の早い段階で5園実施しておりました。公立幼稚園も平成7・8年頃に検討をいたしました。まず、検討いたしましたのは、カリキュラムについてでございます。ただ、子供を預かるという訳にはまいりませんので、カリキュラムの3年間の考え方・子供の育ち等について研究をいたしました。</p> <p>しかしながら、やはり施設的な事も含めて、私立幼稚園がすでにその段階で10年ないし15年の実績を上げている等、総合的に勘案した結果、3年保育・3歳保育は私立幼稚園に担っていただくのが一番いいのではないかとということで、検討した結果、今まで通り公立幼稚園は4歳・5歳を中心に預かると私どもは理解し、今後とも3歳保育は私立幼稚園に担っていただくというふう考えております。</p>
司会	<p>今の答に対して、何かございますか</p>
質問者	<p>施設の問題に対しては、いたしかたないところがあるが、カリキュラム等に関して、私立幼稚園で実績があれば、その実績を公立幼稚園に反映させるとか参考にするといった事もできるのではないかと思うのですが？</p>
市	<p>3年保育を行わない大きな理由としては、カリキュラムの問題について課題があったということではなかったと考えております。それは一つの要素にすぎません。</p> <p>やはり施設的な配置、私立幼稚園との関係。例えば、3年保育にしますと最低でも2クラス必要です。2クラス作り、4歳2クラス・5歳2クラスと持ち上がる形になりま</p>

質 問 者	<p>す。当時は、16公立幼稚園ありまして、2つのクラスを編成して職員も配置してという検討もしたと思います。そのような事を踏まえて、16の公立幼稚園が3歳児保育に加わることは私立幼稚園を考えますと非常に難しかったと思い、今現在では私立幼稚園にお願いしたいと行政では考えております。</p> <p>今回の再編にあたって、いくつかの公立幼稚園が私立化として計画されているが、私立化を急ぐのではなく、私立化を計画している公立幼稚園で3年保育を試験的に行うことは考えていないのですか。</p>
市	<p>付け加えさせていただきますが、この問題については、これまでも市議会で多くの意見をいただけてきました。そして、少子化の中で保育所の入所ニーズは年々高まっております。幼稚園ニーズはというと、私立幼稚園は表で示させていただいたように一定であります。公立幼稚園は減少傾向にあります。市立幼稚園で3年保育を実施いたしますと、総数の人数、幼稚園に入園する人数は減ってきていることですから、私立幼稚園の経営が成り立たなくなります。</p> <p>これは、私立幼稚園との共存共栄が私どもの大きな方針としてやってきました。これは、市立幼稚園・私立幼稚園とが保護者の選択の中で存立していくということが必要でないかと考えております。</p> <p>もう一つには、先ほど〇〇〇〇からお話させていただきましたが、3歳児保育に取り組むためには、今ある幼稚園施設に3歳児クラスを受け入れるための増設が必要になります。</p> <p>いま一つは、私どもの大きな問題として捉えております、習志野市の財政の経営の硬直化をきたしている一つの要因であります人件費比率が全国780を超える市町村の中で習志野市は下から7番目という状況でございます。このような状況を踏まえて集中改革プラン、定員適正化を図るということが習志野市の大きな課題であると、これまで施策に取り組んでいた経過があります。</p> <p>このような経過を考えますと、これ以上習志野市が職員を雇用して保育・教育にあたるということが現実論できないという状況がございます。施設の問題・職員の問題等がございます。</p>
質 問 者	<p>孫が、0歳児と2歳児と公立保育所のお世話になっている者です。今の幼稚園の問題ですが、定員が割れている・財政が大変だといっていますが、3歳児保育は議会で説明してきたということですが、定員が割れている状況なら何億もかけてこども園という施設を作らないで、他の自治体でも築30年・40年といった施設はいっぱいあります。その幼稚園が定員割れしているなら、そこに子育て支援の施設を各地域の近いところで作るというのも一つの方法だと思います。そして、その改修とか一つの部屋・流しを作ったりすることについては5億も6億もかからないと思うんです。そうすると幼稚園の中で地域の子供達が入園して子育て支援、一時保育は保育所の部屋でできる範囲のところ増設するとか、耐震工事とかやる時に増設するとかして、ある施設で一時保育・ある幼稚園</p>

	<p>で子育て支援というほうがよっぽど財政難を解消するのではないのでしょうか。</p> <p>私ども保育問題協議会として全県を回ってきましたが、民営化のメリットもない、子育て施設を作るメリットもないという自治体が非常に増えてきています。習志野市は何故、これから6園も作って、何億というお金を使って、最終的にはお金がなければ学校の空き教室になるのかどうなるのかわかりませんが、そういった事を含めて、最初だけお金を使って後は野となれ山となれ、非常に習志野市の子供達にとって先行きがどうなるのかということで、保育に携わった者として思うので、なにがなんでも作るという方向ではないという事で検討していただきたいと思います。</p>
<p>司 会</p>	<p>今の既存の幼稚園の園舎を使いながらも、子育て支援施設が可能ではないのかと、こども園化に頼らなくてもいいのではないかという趣旨の質問だと思いますが。</p>
<p>市</p>	<p>2点でお答えさせていただきます。まず1点目の色々な課題があるなかで、3年保育を優先的に進めるべきではないかというふうに理解をいたしまして、色々問題や課題がある中で、習志野市はまず既存の幼稚園・既存の保育所を一元化したいと選択させていただいたということが1点目です。それと2点目、現状の保育施設の中で一時保育を実施して下さいということでありまして、最初にパワーポイントで説明させていただきましたが、その年度の予算編成の中でなんとか収支のやりくりをやることはできます。1年や2年でやることはできますが、今求められているのは持続性と将来性と長期的な視野だと思います。今ここで単年度の予算の中で、やることについては先ほど〇〇〇〇からご指摘がありましたように、保育室を活用するとかある場所を増設することは可能ですが、長期的な展望に立った時に、ここで解決しなくてはいけない、抜本的に解決していかななくてはならないと私どもは考えております。</p>
<p>質 問 者</p>	<p>〇〇〇〇と申します。子どもは大人になり孫もいませんでずれるかもしれませんが、〇〇〇〇の方からお話があったのに関連しますが〇〇〇〇からお話を伺ってレジメの1枚目の少子化の進展・核家族化・地域との関連ということで、こども園の計画を伺いましたが、私の感じでは3つの理由から即、こども園の計画が結びつかない。なぜかという、現在27か所の幼稚園と保育所がある訳で、これをフルに活用して保育士を増員するとか、まずそれが一番ではないでしょうか？建物に関しては、耐震化とかを少しずつやっていくという日常の保育の形を基本として、それを発展させていく方向で行けば、〇〇〇〇からお話ができましたが、何億とか何十億とかお金を無駄に使う必要がないと私は思います。それで、子育て支援も一時保育も27か所で地域に直結した形で行えば、7か所のこども園で遠くから延々と小さい子供を連れて移動するよりは、ずっとお母さんやお父さん達にも親切なやり方ではないかというふうに思います。</p>
<p>司 会</p>	<p>前段のご質問と関連があると思います。例えば、既存の施設を使いながら、保育士を確保する。新たに雇用してというご趣旨ではないかと思います。また、耐震化をきちんとして、施設を使うもしくは建て替える・増設をするといったことで、こども園にしな</p>

くても地域で子育て支援が可能ではないかという趣旨だと思います。

これについて少し財源的な部分、現在の耐震の状況等を含めてお答えをいただきたいと思ひます。

市

耐震の状況については、後ほど〇〇〇〇からお答えさせていただきます。

1点目の〇〇〇〇の関係のお話ですけど、例えば東習志野こども園でいいますと、当時東習志野こども園開園の前は、東習志野保育所は非常に老朽化をしておりました。そこから、わずか500メートルほどのところに東習志野幼稚園がありました。当時東習志野幼稚園は園児が77名でして、それ以降は減少傾向にありました。おそらく、そのまま幼稚園として開園・開設する状況には、私個人としてはならなかったのかと思ひます。今、短時間児は110名程度います。77名が110名になったことはこども園という一元化にして非常にサービスのニーズが高かったと理解しております。保育所も150人という形になっておりますので、やはりこども園にした結果、今まで一つずつの幼稚園・保育所だった時代と検証はできませんが、それぞれで建設する形よりは一元化にして近い施設を一つにするということは、色々な面でメリットがあったのかなと思ひております。

一時保育ですけれども、現在習志野市ではこども園を含めて3箇所で実施しております。それぞれ15名の定員ですから、合わせて45名の定員で非常にニーズの高い状況でございます。遠い近いという状況もありますけれども、開設すれば満杯になるのが通常であります。数字でいいますと、年間延べ2,500名から3,000名の利用があり、こども園を開園しただけでも、2,500名となっております。これは非常にニーズが高い状況になっております。これが一気に、23施設・24施設に行くということではなくて、徐々に段階的に作っていきたくて思ひておりますので、そこでまず7施設で実施していきたくて思ひておりますし、私立保育所でも一時保育を担っていただきたいと思ひます。東習志野こども園の短時間児は、預かり保育を実施いたしまして、預かり保育を利用しますと9時から17時まで預ける事が可能です。夏休みも実施しており、保育所においても預かり保育と同等程度の時間を預ける方もいらっしゃいます。非常に保育所・幼稚園の垣根が低くなっております。その意味でこども園にすることで、新たなニーズに応えられるというふうに思ひ、期待しております。

市

耐震化について、概括的なお話をさせていただきます。まず、幼稚園でございますが、昭和56年以前に建設されて耐震診断をする必要がある施設について、すべて耐震診断が終わっております。危険度が高く早急に対応しなくてはいけない基準のIS値0.3未満については、袖ヶ浦東幼稚園がIS値0.29で早急に対応していかなくてはいけない状況でしたが耐震化が終了しております。その他の0.3未満の早急に対応しなくてはいけない施設はございませんけれども、原則してほとんどの施設が文部科学省基準のIS値0.7以上の数値ではございませんで、0.3以上0.7未満で将来耐震補強の必要があるという耐震結果がでしております。次に保育所でございますが、大久保保育所が一番低い箇所で0.12という耐震指標でございましたので、建て替えるべく今年

質 問 者	<p>度、業者発注し今年度11月から来年度にかけて建て替えをしていきたい。その他の施設ですが、現在5か所の耐震診断の結果がでておりませんが、耐震診断が終わっている状況を見ますと、幼稚園の建物に比べて耐震補強をする必要がないという建物が多くございまして、予算を含めて考えますと保育所の方が耐震補強にかかる経費が少なくいいのではないかと考えております。</p>
司 会	<p>子どもが幼稚園は終わっておりますので、今日は勉強の意味で参加いたしました。</p> <p>現在、公立では保育所・幼稚園・こども園が合わせて27か所あり、将来的には7こども園になるということですが、財政的にはこども園を建設すると何億もかかるので、逆に厳しいのではないかという声があるようですが、現在の27か所の公立保育所・幼稚園・こども園の運営費と将来7こども園を持つことで、財政的には楽なのか明確にお聞きしたい。</p> <p>27の子育て施設を維持するのか、もしくはこども園という括り直しをした時の経費の負担の問題の趣旨でよろしいかと思いますが、行政は数字的なものをきちんとお示ししてお答えいただきたいと思えます。</p>
市	<p>先ほどの〇〇〇〇から耐震の説明をさせていただきましたが、誤解を招く恐れがありますので補足させていただきます。</p> <p>幼稚園よりも保育所の方が改修の経費が少ないだろうということでしたが、これはこれまで改修した部分を見てお答えさせていただきました。これは、大久保保育所の建て替えということがありますので、今後多くの経費をかけなくてはなりません。また、今年度耐震結果がでていないので一概には言えませんが、どちらがということではなくて、昭和40年前後に建設された施設は他にも多くございます。その施設は、類似の耐震の状況かと危惧しているところがございます。そのようなことで今後多くの経費がかかると思えます。</p> <p>質問のこども園化するのと、27施設のどちらを選ぶことで利益があるかということですが、この計画をさせていただいた一番の基本は、やはり非常に高く多様な子育てニーズに伝えていかななくてはいけないということですが、習志野市が今のままの施設を維持していくことが困難な事を、施設を改修しなくてはいけない事・保育士を確保、増員していくことを総合的に勘案したなかで、既存施設をすべて改修しながら維持していく、多様な子育てニーズに伝えていくことを、全てやっていく事は、行政にとって困難です。従いまして、こども園整備計画や私立の力をお借りしながら、市民が望む子育て支援ニーズにしっかりと伝えていきたいと考えているところです。これまで、幼稚園・保育所施設だけでなく、保育所に入所できない方達が多くいることや一時保育を使いたくても使えない方も多くいます。この方達も含めてしっかりと市民に伝えていきたいと考えております。</p>
市	<p>今現在、こども部が抱えている予算は、人件費を除いて事業費27億円をいただいで</p>

	<p>おります。人件費を含めるとその倍になると積算しております。この中で、保育所の事業費は、18年度決算で21億円の投入をしております。このうち、保育料等の収入を差し引きまして純然たる一般財源は、10億2千万円になります。7つのこども園になる事で、だいたい事業費で11億円になるのではないかを思っております。ただ部長が説明しましたとおり、浮いたお金は、在宅支援の子育て支援に使いたいと考えております。もう一つ、私立化で説明させていただきますと、保育所の場合ですと、110名程度の定員で現在、税金を1億2千万円投入しておりますが、これを私立化いたしますとだいたい5千700万円くらいの税金で済みます。幼稚園の場合には、26年度までに2つの幼稚園、2つの保育所を私立化いたしますと、約1億8,000万円程度の効果がでてくると考えております。これは、1つの公立保育所の運営費に相当する金額であります。</p>
<p>司 会</p>	<p>ご質問は、どのくらいの削減効果がということだと思いますが、今、純粹に市は27施設で約21億円の持ち出しがあるというふうにご理解下さい。そして、7つのこども園に将来作り直した時には11億円くらいで止まるだろうというのが予想している数値であります。その差額の10億円については、例えば私立幼稚園に通われる方への就園奨励費や私立保育園の運営費助成に充てていくというのが説明だったと思います。</p>
<p>質 問 者</p>	<p>習志野市を少しでも住みよい市にしたいという観点からさせていただきます。</p> <p>今、説明していただきましたが、まったく分かりません。なぜ21億円が11億円になるのか。この数字についてはホームページ等で詳しく説明していただければ、この場で21億円が11億円になると説明されても、そうなんだという感じをただでございませぬ。どちらにしろ、何にお金を使えばいいのかということだと思います。</p> <p>財政難だという話を聞いておりますが、JR津田沼駅南口開発には200数十名で行う事業に44億円投入するわけですね。単年度ではやっていけるということだが、長期的にはとても大変だという〇〇〇〇の話がありましたが、44億円も投入できるなら子育てとか送迎の問題とか、大規模になればなるほど目が届かないとか質の低下とか色々な問題がでてくると思います。特に送迎の問題は、近くだったら預けられるが少しでも遠くなれば車やバスで行かなくてはならなくなると非常に苦勞がでてくると思います。そういうことを考えれば、何に税金を投入すればいいか、子育て日本一を掲げる習志野市のやり方として是非検討していただきたい。困難だ、困難だではとても納得できません。</p>
<p>司 会 市</p>	<p>ある部分で財政の投入がある一方で、きちんとした配分をしたほうがいいのかというご質問のご趣旨だと思いますが。</p> <p>習志野市は、子育て支援日本一を掲げております。その旨で私達は一生懸命に努力をさせていただいております。7つのこども園だけで、習志野市の子育て支援施設が成り立つわけではございません。習志野市の公立保育所・公立幼稚園も7つのこども園の中</p>

	<p>にございます。そして私立の力を借りていくんだということでございます。私立の力は、今非常に保育ニーズが高まっている中で、保育所はこれから増やしていかななくては行かないと考えております。待機児童も一時保育を利用した人もたくさんいらっしゃいます。そのような方達に、どうやったら私達がやっていけるか総合的に勘案した中でのご提案です。</p> <p>習志野市の35ヘクタールのお話もございました。35ヘクタールにも当然地権者が権利を持っている方もいらっしゃいます。習志野市の耕地が、後継者が不足する中で荒廃の一途をたどっております。そのような状況を考えた中で、習志野市の将来の町づくりをどうあるべきかという考えの結果の方策であると認識しております。そういう中で、財政を何に使っていったらいいかを選択していった中での区画整理事業への投資だと考えております。子育て支援施策については、まだまだ一生懸命やらなくてはならない、その方策をどのように作っていったらいいかのご提案だにご理解していただきたいと思っております。</p>
<p>質 問 者</p>	<p>習志野の子育て支援日本一という形は、子どもの立場にたった色々な事ということは分かるのですが、結果的に財政の問題ではないと言いつつ、税収入が厳しくなったからというところが非常に大きく聞こえてきます。それで7つのこども園にして建設費を何億も支出しても将来的には安くなるんだとふうになっても、本当に子どもにとって270名規模とか230名規模とか180名規模とか、やはり適した規模の大きさがあると思います。東習志野こども園が3年目を迎えて、80%以上が満足だといいますが、あそこがたまたま近い保育所と幼稚園であったと。杉の子こども園は、たまたま家の孫が廃所になる所に行っています。そうすると公立を望めば、もしかして杉の子まで通わなくては行けないという物理的な問題もあるわけです。そうすると仕事をもっている親は、1分でも早く電車に乗らなくては行けない状況にあるなかで、遠方まで行かれないという状況もあるわけで、子供の為を思ってと言いつつ財政という。財政が全く追いつかなければしょうがないですが、どちらに重きを置くのかが非常に心配です。</p> <p>今、船橋市でも認定こども園はやらないということですし、県内を回ってみても民営化も職員の人件費の問題で、習志野市も正規職員と臨時職員が半々ですね。以前だと人件費の削減するために民営化したと。表向きは保育内容の充実と言いつつ中身は人件費の削減だと。そしたら現状は、酷い所だと4割が正規、6割が臨時でも民営化しないで済む財政的な状況ができています訳です。だから裁判闘争までして民営化をやらないという自治体が県内を回ってみて多くなっているなかで、何故習志野市は、住民の意見を聞くといいながら計画ありきで実行しなくては行けないのかというのが疑問に思います。</p>
<p>市</p>	<p>習志野市が正規職員と臨時職員の割合のお話がありましたが、臨時職員が半数である、それで成り立っていたら民営化しなくていいだろうということではないと思います。臨時職員に頼るということは、どういう事があるのかということを実際に考えなくてはならないだろうと思っております。我々は、今なにを悩んでいるんでしょうか。それは相</p>

質 問 者	<p>次ぐ保育所入所の申込みに対して、どう対応していけばいいのか。それは、臨時採用職員の雇用も十分ではありません。臨時採用職員の方は、雇用契約上は短期ですから退職される方も多くいらっしゃいます。子どもをお預かりしていく段階でも、年度途中で退職される方が多くいるなかで保育の安定をどう図っていけばいいのでしょうか。やはり公立として安定した保育所の運営を行っていきたいという考えは、私にはございます。</p> <p>ですから、財政先にありきではございません。習志野市は今後、子育て支援施策をどのようにやっていくのか、子育て支援日本一にどのようにもっていくか、たくさんの保育ニーズがあるなかで市民の皆さんに、必要な保育サービスをどのように提供していくかを考えて、提案させていただいております。</p> <p>保育所が臨時職員でいいとは言っておりません。私は、同一労働・同一賃金で臨時職員の方も本当は本採用しなくてはいけないと思っております。ただ、幼保一元化というなかで教育要領と保育指針を改正したなかで、こども園でも4歳・5歳児の教育を文部科学省や厚生労働省が言っていることは、教育の前倒しの意味を含めて盛んに言われているわけです。認定こども園だと一元化でそのような事もできるということは、私はマイナスだと思います。やはり子どもにとっては適した規模、保育所は保育所、幼稚園は幼稚園、そして交流する時はするということだと思います。何も、一元化する必要はないと思います。一元化の為に、なんかというふうにとれます。私は、臨時職員だからいいという意味で言ったのではありません。誤解しないで下さい。</p>
市	<p>保育所に教育は、というお話がありましたが、前倒しではないかということもございましたが、保育所も幼稚園も幼児教育の基本というのは、遊びの中で子育て・子どもの生きる力を育てることが幼児教育だと認識しております。そのような中で、保育指針・教育要領は見直しをして内容をご覧になっていただければわかりますが、ほとんど変わりはないはずです。何故、変わりがないかといいますと、幼稚園の教育・保育所の保育を一体化するという国の一つの考え方の中で、幼稚園の教育要領を作成する専門官、保育所の保育指針を作成する専門官、この方は同一の方も一緒に携わりながら作り上げていくはずで。そのような中で意図することは、幼児教育の大切さをそれぞれが認識しながら作成されています。けっして、小学校就学前の教育の前倒しではなくて小学校にいかに円滑に、幼児から小学校義務教育に繋げていくかという円滑な連結をいかに進めていくのかが大きな一つの視点であります。</p> <p>ここをもって一体化への保育指針も教育要領も変えてあるという認識をしております。必ずしも前倒しではないと私は認識しております。</p>
司 会	<p>今までのなかで、行政側から補足はありますか？</p>
市	<p>参考になる数字的なものがありましたので、ご説明させていただきます。</p> <p>保育所の予算の構造について言いますと、現在13保育所の運営経費（人件費も含めて）は、18年度決算で21億円となっています。これが、これまでの国が公的責任と</p>

いう形で大きく考えていたもので言いますと、約10億円が基準的な運営費になっています。事業を拡大いたしまして、濃い青の部分とオレンジの部分が、習志野市が国の公的負担に上乗せをして実施をしているものです。

この財源内訳を見てもみますと、この部分が国から2億1千万円、県から1億6千万円、同じ様に市が負担しなければいけない1億6千万円という数字が出てきます。残りの部分が、保護者が負担する保育料の4億3千万円であり、ご覧のとおり空間がございます。この部分は、習志野市が単独で負担をしている分でございます。この部分を税金で補っていると考えていただければと思います。そうしますと、このオレンジの部分が習志野市が新たに税金を負担している部分でございます。かつ、この部分が国から来なくなりました。この部分が県から来なくなりました。そうしますと、この部分を上乗せをして市が負担しなければならぬ。全部を足していただきますと10億7、8千万円になると思います。これは保育所ですから、この数字にプラス幼稚園にかかる経費が一般財源で4億円くらいだと思いましたが、両方足しますと19億円くらいになります。それが、7つのこども園（7つの保育所）になりますので、13保育所で10億7、8千万円くらいですから、7つの保育所で約7億円くらいになると思います。それと、7つのこども園の下に、7つの幼稚園をプラスしますと、だいたい先ほど、私どもの次長が言いましたように11億円くらいになるということでございます。

現在、負担している11億円が7つのこども園になりますと、約10億円になるというわけでございます。ここで言いたいことは、財源的に国も県も補助金がなくなってきたということです。地方分権で市に財源を生み出ささいという状況を知っていただきたい。これを、子供一人当たり直しますと、年間138万円かかっている計算になっています。この数字は保育所の場合です。

（「分かりません。」という声があり。）

司 会 分からないという声があるようですが、このことだけではなく、もっともっと詳しくということになりますと時間がございませんので、先を進めさせていただきます。

質 問 者 子供や孫がいて、くるみ幼稚園ですとか、谷津・藤崎の方の幼稚園の発表会とかを見に行かせていただいておりますが、非常に幼稚園の園長さん始め、子供達だけでなく、保護者の事もよくご存じで卒園してからもお付き合いをするというような関係があります。ここに、東習志野こども園の園長がいますが、今270名の園児がいると思いますが、全員の子供さんの顔や名前とか保護者の家庭の様子とか、もう3年もやっていれば、どのくらい把握しているかわかると思いますが、その辺の状況をお聞きしたい。

市 お答致します。今、ご質問がありましたように園児・保護者すべて把握しているかという話ですけど、正直言いますと、私は全体の把握はしておりません。

ただし、ほとんどの保護者あるいはお子さんは、毎日、毎朝・帰りに挨拶をしながら保育を進めておりますので、そういう意味では半分以上、3分の2は理解していると思

質 問 者	<p>います。人数の関係もあろうかと思いますが、全体の把握まではいたっておりません。</p> <p>ただ組織といたしましては、組織が2室制の形をとっておりまして、子育て支援室・指導室という組織形態でございまして、そこには指導室長あるいは副室長が配置されていますので、個々にはそのような職員を通じて、あるいは個々のクラス担任を通じて把握いたしまして、それぞれ個々の状態に合わせて保育しております。</p> <p>最近、フランスの地方の幼稚園と小学校が20名近い、山の施設がありまして、その園長ですか校長先生がお一人ですが、非常に日常の教育について熱心なやりとりがあって、最後の定年で別れる時には保育者から子ども達まで、また会おうという良い映画を見たのですが、少なくともこども園構想が数年前に文部科学省の方で出来ましたですよ。いの一番に習志野市が手を上げて参加されたと。やっぱり先ほどの数字でいいますと今現在753名の保育所・幼稚園の先生方がいらして、これが東習志野こども園で言いますと61名と。そうしますと、やはり300何十名が余分にカットされることになると思うのですが、当時数年前は民営化の真っ盛りであり、民営化すればということで一斉に民営化の嵐が吹いたといった中で、このような構想が出てきたのではと。だから、どうしても公立で何とか採算とか公立が先にきて、僕らが後期高齢者でやられたように今度は子どもがそういったことで巻き込まれていくと。だから、このような大きな政策の転換というか決めて行く場合には、わずかな検討委員会で方向を決めてしまっただけでは、決まったから第1回のタウンミーティングをするということでは具合が悪いと思います。だから、一斉にこういった質問が出ると思うんです。</p> <p>先ほどから賛成といったお話がない、東習志野の方では80%が賛成しているんじゃないかということがありましたが、手戻りになるとこういった仕事。やはり習志野市としては、もう一度よく人の話を聞いて、早く第2回のタウンミーティングを開いていただきたいという要望です。</p>
司 会	<p>最後、ご要望ということでございましたので、お答はよろしいでしょうか？</p> <p>タウンミーティングのこれからの2回、3回の開催があるのかどうかということですので、お答をいただきたいと思います。</p>
市	<p>先ほど、方向性が決まってからというお話がございましたが、今日は方向性が決まったからお話伺ったのではございません。タウンミーティングで、これまでの検討経過を中間の報告として出ささせていただきました。そして、最終的な報告がありましょう。そしてその後、習志野市として今日の意見やこれまでの意見を、もろもろ参酌させていただいて、最終的に行政として、どういう方向性を決定するかこれからです。タウンミーティングは、その中の一つしてご意見を伺うためにお邪魔させていただいたものでございます。ご質問の中の2回、3回目はどうするのかということですが、現在これで終わりということは考えてはおりません。</p> <p>今後につきましては、検討させていただいております。そのような回答でご理解いただければと思います。</p>

司 会	<p>まだご質問があるとは思いますが、ここで違う角度からご意見のある方がいらっしやいましたらお手を上げていただきたいと思います。この計画について、反対ではないけれど肯定的なご意見がもしある方がいれば、少し伺ってみたいと思いますけれども、いかがですか。</p>
質 問 者	<p>実朧に住んでまして、生まれも育ちも習志野で、習志野で仕事をしております。今日は仕事なんですけど、今後の市政が気になりまして参加させていただきました。</p> <p>基本的に、習志野市がどういう財政状況で圧迫して大変だとよく耳にしますけれど、私も市民としてそこまで詳しくは分かりませんが、正直言って待ったなしの状況になっているんじゃないかなと、なんとなくわかります。そのような中に、このようなこども園の構想とか、今後の市民の税金をどういうふうに入投して注入していくか、とても一市民として興味があるとともに、今までこのような事に全く無関心で興味がなかったと。はっきり言って、選挙にも投票にも20代の頃は行ったことはなかったです。あまり関心がなく、どうでもいいやと思っていました。</p> <p>やはり子供が出来て、子供が習志野市で育っていくうちにこれはヤバイ、子供達の為にならないということが分かりましたので、このような場に出るようになって意見を言うようになったのですが、正直言って、今日はもっと多くの市民が参加して色々な意見が出れば、今後の習志野市がもっと魅力のある町になるような色々な意見が必要だと思います。そのような中で、私は建設業をやっていますので、私の観点から今の現状の保育所・幼稚園の建物について意見を言わせていただきます。正直言って、屋根裏とか皆さんが見えない所とか仕事上見てますが、結構ガタガタです。すぐ屋根が崩れるとか雨漏りしているとかいう所もあります。ただ、このような財政が圧迫している中で、予算もないと年中言っておりますので直したくても直せないんだよといった話を幼稚園の先生と言って、ここ直してくれないかしらとよくっております。そのような中で、その下で子供達が駆けずりまわってニコニコしてて、先生これ直さないとマズイよというような事になっているんですけど、お金がないなら直してあげようかということもしております。そんな中で、私としては一子供を持つ親としては、伸び伸びと遊べる施設が必要だと思っています。先ほど数字的な観点が分かりにくいのはしょうがないのですが、分かりやすく説明していただきたいのは思いますし、税金を払っている身としては、これから関わっていきたいですし、注意深く見守っていききたい、意見を言っていききたいと思っております。園歌・園章がないということでしたが、今後は作っていく前には是非、園歌があって作るとしていかない子供達がかわいそうだなと思います。</p>
質 問 者	<p>財政の問題で質問した者です。保育所の方は通わせていないので幼稚園でしかわかりませんが、一番初めに質問された方が3年保育でということは、とても大きいなと思います。子供にとっても保護者にとっても船橋の方は一切公立がありません。すべて私立幼稚園です。それがオリジナルだと思っていました。ある昨年出来た幼稚園は、夏休みでも幼稚園があるんです。そこまできている幼稚園もありました。そういった意味では</p>

	<p>逆に3年保育・2年保育が、先ほど〇〇〇〇がおっしゃったように3年保育なら私立にというのは冷たいのではないかと。もう少し考え直してもいいのかなと思いました。保護者としては3年保育で幼稚園に通わせたいと思いますし、送迎の面で私立はキメ細かやかにバスが行きますので子どもを安心して通わすことができることで、私も3人、私立に通わせました。そのような面で、市の方が財政の面でそれが優先されていると言われてましたが、やはり大事な事だと思います。これから、子どもが財政困難な市を担っていくとなると心配な事もありますし、そういう意味で色々な事を今回第1回ということもありましたし、私は逆にこども園には賛成な方で参加させていただきました。市の方と保護者と地域の方々と、少しでも歩み寄りなり、コンセンサスを持っていくなりで進めていければ、より良い意見が出たり改善できていくなりできると思うので、意見とさせていただきます。</p>
<p>質 問 者</p>	<p>障害児の支援をやっている者ですけど、少々お伺いします。障害児、うちは2歳から受け入れいたしまして、ずっと支援をしておりますが、やはり乳幼児期というのは特別な支援を受けるのではなくて、保育園でもって健常児と、共に良い環境の中で育っていくのが将来の就学してからの子どもの人間形成にとっても、ものすごく必要なものだと思います。本当に環境の整備された中で、障害児が特別に専門性を持った保母さんと一緒に健常児の中で伸び伸びとする、そういうふうな事が出来ることも園であれば本当に理想的にいいなと思うのですが、現状を見てみますと、なかなか障害児の受け入れはいいよいよと市はおっしゃいますが、親側としては、例えば保育所だとか今こども園構想が出ていますけれども、そういうふうな所に預けて本当に障害児にとっていいものなのかどうかが見えておりません。</p> <p>現に家の孫もそうでしたけれども普通の保育所に入れて色々なことがあって、これではいけないなとかしなくちゃいけないと思って、自分でやるのが一番いいかなと思っておりますけれども、ですけど本来人間は、やっぱり社会で育って行くためには、皆さん健常の中での生活が一番適していると思います。それでちょっとお伺いしますが、現在東習志野こども園で、障害児をどれだけ受け入れをして、どのような支援の内容をしてらっしゃるのか、今後支援の内容がどういうふうにかども園にとってなされていくのかということが一つと、それから障害児一名に対し、一名加配しますよね。加配の職員は、本当に障害に対しての専門性の研修なり教育なりを受けているのかどうか。障害と言っても色々な種類がありますので、そういう所をどう捉えてやっていらっしゃるのか。私は、障害児にとっては小規模の中で乳幼児とともに生活をしていくことを望んでおりますので、あまり大きな団体の中でどういうふうにやっていけるのかという展望をお聞かせ下さい。</p>
<p>司 会</p>	<p>では、こども園長3点ありました。障害を持つお子さんの受け入れ状況・障害児を担当している職員の資質の問題、それから基本的には少人数で障害のあるお子さんを受け入れるというのがご意見ですが、東習志野こども園ではどうなのかという3点ですがお願いします。</p>

市	<p>まず一点目ですけれども、現在は、要指導のお子さんは11名お預かりをしております。その中で、職員の配置が1対1のお子さんと3対1のお子さんがそれぞれいます。そして、研修等の状況ですが職員（加配された職員も含めて）が研修の機会を設けて、研修に出かけると同時に専門の先生に来ていただいて、園内での研修も行っております。3点目ですけれども、確かにその子にとって何が一番いいのかという事は、十分考えなくてはいけないと私どもも思っております。それが大きな集団がいいのか、小さな集団がいいのかという事は、私は大変重要な問題だというふうに思っております。そういう意味で、専門家の方々と協議をした中で、本当にその子にとって何がいいのかということを考えていく必要があるのかなというふうに思っております。障害のある方も色々な方がいらっしゃいますので、一概にこの場合はこうだとは言えませんので、個々のお子さんの状況を把握した中でその子にとって何が一番いいかということをも十分考えなくてはいけないというふうに思っております。</p>
質問者	<p>私、実籾に在住してまして、子供が3人いる父親でございます。十年前、横浜市の方から来た時に、たまたま長女の時には3年保育は私立が締め切っていたんです。1年待って、たまたま、枠が空いていたのか補欠で2年間私立に通わせることができました。他の2人目も同じように、これは3年目から入れました。3番目はちょっと歳が離れて、3歳で実は公立保育所の方に、ほとんど0歳児の時から預けてるんですが、じゃあそのまま保育所かという私の中では、やっぱり私立の教育というのを見て、申し訳ないのですが質が高いなと、そこが売りなんだという所で、来春からは一応私立に通わせる予定であるんですけど、今、こども園の話をさせていただいて私も知らなかった、皆様の様々な意見が出まして、すごい勉強になっているんですが、まずはこども園ありきも結構だと思います。ちょっと他人行儀な話ですが、もっと民間を他市がほとんど公立がないなかで民間の競争力というかアイデア、その独自性をもっと習志野市の中に入れていただいた方が活性化するのかな。現実には、私立は定員が常に一杯で、公立は減ってきている。決して幼稚園のニーズが下がっている訳ではなくて、公立に魅力が欠けているのかなという気がします。</p> <p>様々な家以外ではなくて色々なケースがある訳で、そこで民間で補えない部分を始めて公としての責任として対応できる施設があればいいのかなと。一つ思うのは、子供の運動会とか参加すると、公立の方をたまに見かけることがあったのですが寂しいと。昔と比べてすごい子供の数が減ってきて、運動会も活気がないなと。そういう中で、わが子はある程度集団の中に入れて、ある種揉まれる中で人間関係の能力を磨いてほしいなというものがあって、私は私立の選択をしたんですが、そういう意味でせっかく新しい箱もの、箱だけじゃなくて中身もシステムも変わるのであれば、良いところ取りをさせていただいて、今後検討する余地があるのかなという事で、市に対して要望という形で意見をさせていただきます。</p>
質問者	<p>私、55歳でして、子ども2人は来年社会に出るので、小さい子がいるわけでもないのですが、ただし今まで2人の子供を育ててきて、やっぱり幼児期に何が重要かいうと、</p>

幼児期にどういった環境でどういった育て方をするかが非常に僕は重要なんじゃないかと思うんですね。ですから、それはある意味、財政がひっ迫してとか厳しいとか予算がないとか、そういった問題ではないことは明白な事であり、皆さん承知していることです。

先日、東習志野こども園のアンケート調査をされたみたいですが、ここに色々な意見あるんですが、特に改善して欲しいところで143の意見が上がってまして、そのうちの半分くらいが、このあり方について疑問を呈する意見ですね。特に集中しているので、一元化に対する疑問なんですね。一元化に対し評価する意見が8に対し、一元化を批判する意見が30件出ているんですね。主なものを申し上げますと、長時間児と短時間児は別クラスにして分けた方がいい、子どもの増減が激しくて不安定な園だなと思っている。人数が多すぎて、先生方は園児一人一人の事を見ていない。長時間児中心で居心地が悪い。幼稚園・保育所にもっとお金をかけてもいい。民営化は良い案とは思えない。というような意見が、ずらーと出ているんですね。こういった意見を見ますと、先ほど冒頭に説明された方が100%満足をするとはありえないと言っていますが、根本的な事に関わる事だと思うんですね。今後の幼児の教育とか、育て方を考えますと、はたして今の園でいいかということと思うと、はだはだこのまま進めていいとは思えないんですね。再度もう一遍見直すか、あるいは結論が出るまでは凍結すべきじゃないかと思えます。これは、要望です。

併せて民営化・効率化を進める事で世界がメチャメチャになっているんですね。とにかく何でも民営化・なんでも効率化するのではなく、これだけ貧富の差が出ている中で、これらの事を考えますと今回のこの問題も私自身は、懸念を感じざるを得ません。以上です。

(会場から拍手あり)

司 会

今、アンケートのお話、東習志野こども園で取ったアンケート結果をホームページで公開をさせていただいてますけれど、それをきちんとお読みになってのご意見だと思います。もし、この場に東習志野こども園の保護者の方がいらっしゃったら直接ご意見を聞いてみたい気もしますが、ちなみにおいででございますか？

質 問 者

2歳と4歳児で、古い建物の時からお世話になっておりまして、色々アンケートに結果が出てまして、家の方は回答はしておりません。実際、だいたいアンケートというと賛成の意見を書くというよりは、反対意見とか書かざるを得ない状況にあるという意味を踏まえて、家は本当はそういう事に参加しなくてはいけないんでしょうけど、今回のアンケートは辞退させていただいて、今日参加してみて、同じ世代というか同じ環境にいる世代にいる人達がいなかったのがとても残念で、是非次回こども園について聞きたい場合は、是非こども園で窓口でもアンケート調査していただいたり、朝早いですけれど帰りなり時間があると思いますので、そういう時間を取っていただいて、実際の子供の立場になって意見を聞いていただく、大人の意見と子供の意見は多少ずれていると

思いますので、その辺は子供の意見を大切に、これからのこども園作りに検討していただければと思います。

子供と色々お風呂に入っている中で聞きますけれども、やはり短時間と長時間児の別れる場面がどうしても辛いというか、親にとっては心が痛い。でも実際、最初の場面は何であの子達は先に帰るのという意見が子供から上がってききましたが、だんだん日を追うごとに先生の配慮なのか、子供同士の交流のせいなのかわかりませんが、一線を引いて聞いているみたいです。まあ、両親が働いているからしょうがないかなということ子供は納得して今を過ごしていると思います。最初は、仲良し組でしたっけ、仲良しとニコニコ組があってそういう派閥があったみたいですけど、今新しい友達ができ、楽しく過ごしているというような子供との会話から、そういう会話が生まれてきています。クラスにしてみたら、人数の割には先生の数が少ないという意見が多いんですけど、逆に見ていると先生が非常に可哀想だなと、あれもこれも生徒が寄ってきて、先生お願いしますと。ただ、この辺については、もう一度人員の配置については、考える余地があるのかなと思いつつも部屋に関しては、子供に聞くと、昔の保育所と比べてだと思えますが人数の割には少し広くなったと、環境が整ったのかなと親の意見はそういうふうを感じ取っております。色々子供と話し合っていますけれども、やっぱり古いよりは新しい建物がいい。友達が少ないよりは友達が多い方がいいとそういう言葉は子供から出ています。長時間児と短時間児の融合については、最初はそういう隔たりもありますけれども、子供の中でうまく改善していつているのではないかなと、会話の中から生まれた意見です。

司 会

実際に、お子さんを東習志野こども園に2人、お預けになっていただいているということで、子供さんとの会話の中からということでご意見をいただきました。

質 問 者

2年前に市内の保育所の保護者会の会長をしておりました。3つあるのですが、まず1点、具体的な金額のお話が聞ければと思ひまして、袖ヶ浦東幼稚園の耐震補強が終わったということですが、いくら金額がかかったかということ。併せて、大久保保育所の建て替えが予算化して行われるということですが、その金額はいくらということ。これが1点。2点目は、こども園計画は長期的な視野に立って将来性を考えて行われるというお話でしたが、具体的な待機児の解消は、定員によって行われると思いますが、定員がどういうふうに拡大していくかという計画の方を教えてください。3点目ですけども、少し個人的なところも入るんですけども、このこども園計画は保育所の親からいたしますと、とても幼稚園児、短時間児の方にかなり寄った施設ではないかと感じています。と言いますのは、例えば同じ場所で学べるという説明がありましたが、それを教授できるのは当然短時間児だけであって、長時間児は民間の方で半分は減ってしまうと。短時間児の方は、定員の半分くらいしか幼稚園がいませんので13施設が7つになっても、ほとんどが公立の方に入ると。方や保育所の方は、半分の方は民営の方に行かざるを得ないと、公立に行けないという事実があります。また、短時間児の方は、こどもセンターとか預かり保育というのは、基本的には短時間児のお母さん達にとって

	<p>良い施設であって、長時間児のお母さん達にとっては、逆に不特定多数の人間が実際に乳幼児がいる所に入って来れてしまう。せつかくの不審者対策が行われても、それがないがしろになってしまうような施設になっていく訳です。そういう事で、今回のこども園計画に対して、保育所の保護者の意見がどの程度、どのように反映されているのかということ。又、東習志野こども園の方の長時間児の保護者の方が、どのように施設を判断しているのか。トータル8割ではなくて、長時間児のお母さん方は何割の賛成をしているのかというところを教えてください。</p>
<p>司 会</p>	<p>3点のご質問ですね。袖ヶ浦東幼稚園、大久保保育所の耐震補強と建て替えの経費の件。それから、待機児童の将来の対策と定員について。それから3番目にこども園に対して保育所・幼稚園の保護者の方の意見がどのように反映されているのかということです。</p>
<p>市</p>	<p>1点目のお話のご説明を致します。</p> <p>まず最初に、袖ヶ浦東幼稚園ですけれど、1階と2階が幼稚園で3階と4階が小学校という4階建の建物で、教育委員会の方で耐震補強を行いましたので、現時点で資料を持ち合わせていませんので、1階と2階の幼稚園相当部分だけがいくらかというのは、現在お話しする事はできないという事です。あと、大久保保育所でございますけれども、大久保保育所は耐震的なもので残そうというのが、平成15年に増築させていただいた保育室2つは残ります。これは新耐震ですから。それと給食室、給食の献立を作っている給食室は、耐震的に問題がないので残します。遊戯室は、0.3未満で早急な対応ではないんですけれど0.3以上0.6以下という事で、平成22年度耐震補強をやるという状況の中で、耐震的に悪いという職員室や保育室を最小限対応するという建て替えて、平屋建でプレハブ作りで対応を考えているのですが、概括的に建設費だけで1億2千万円程度の工事費になるのではないかと考えております。それは建て替えですから、耐震対策プラス老朽化対策が可能です。それは、保育所でございますけれども、遊戯室は耐震補強だけですので、老朽化という問題については耐震補強では改善化できない事ですが、耐震補強だけやっという状況でございます。</p>
<p>市</p>	<p>待機児童の件について、お答えさせていただきます。</p> <p>今回の計画は平成26年度を最終年度としてございますので、その間に施設的な事しか考えておりません。それから先につきましては、まだ新しく出来ておりませんので、その平成26年度の中でという前提でお話させていただきますと、待機児、すなわち保育所における収容可能数と同程度というような形になりますけれども、杉の子こども園で保育所として今考えているのは76人の定員が市全体で増えます。それから26年度の中で、若松保育所を私立化しますけれども、今増築の設計をしているところでございまして、これで50名の定員の増加を考えております。従いまして、今の段階では26年度の中で126名の増加、一つの保育所分というふうな増加になると思います。</p> <p>それで市の中で、現在50名の待機児童がございまして、場所等の待機児童の</p>

	<p>解消になるものと考えております。それから3点目は、色々ご質問があったかと思うんでけれど、短時間児の方に多くメリットがあるのではないかということが一つ言われた事ですけども、私どもは一緒になりまして、それぞれ良い面が出ているのではないかというふうに思っています。幼稚園は幼稚園なりの歴史がありますし、保育所は保育所の歴史があります。それを具体的に子供の育ちの場面で、良いかどうかというのは私もよく分からない部分があるんですけど、やはり例えば幼稚園児にしてみますと、先ほど出てきましてように栄養士がいる、看護師がいるということで保健指導・栄養指導が受けられる。長時間児にしてみれば、宿泊保育ということが出来る。その他に、先ほど申し上げました保育の質の面・内容の面で、お互いそれぞれいい所をもらっていると私は考えております。3点目のご質問は、不特定多数のお子さんがいらっしゃるこども園がどうかということですけど、冒頭も申し上げましたように私どもは、在宅の子育て支援、0歳から就学前すべての子供を見通した施設にしたいと思っています。未就園の方もこども園に来ることで、幼稚園児・保育所児を見て、いつしか自分の子供がそのようになると思いを馳せるかと思えますし、このようなサービスも身近に考える事ができます。そのような事で、総合施設という一緒に募集するというのは大きな役割だと考えております。</p>
<p>司 会</p>	<p>こども園構想というか、今私たちが示している素案の中に、この事に対して保育所の保護者の方、幼稚園の保護者の方の意見をどう反映したんですか、どう反映するんですかということだと思います。</p>
<p>市</p>	<p>保護者の説明の中では、再編素案に反対という声がありました。それにつきましては、具体的な提示をしていただかないとそれを反映するかどうかというのは私の方ではお答えできません。というのが一つ。あと反映した点ですが、杉の子こども園の計画を立てておりますが、その中で杉の子幼稚園の保護者の中から色々建設にあたって配慮すべき具体的な提案がございましたので、これにつきましては是非その実現する時に取り組んで、それを反映したいと考えております。</p>
<p>市</p>	<p>今、計画が決定している訳ではないというお話をさせていただいた所ですが、今、ご意見を聞いている所でございます。そこを、何を反映したのかということではなくて、今日のご意見を含めまして、これまでの意見を十分伺っていく中で、これから決定していくと。杉の子こども園につきましても、検討委員会でお示し、またホームページで提案させていただいた。その中の考え方の一つに提案するにあたって、具体的な形として一つそういったことを考えさせていただきました。ただ、これにつきましても今後、具体的に来年度以降に杉の子こども園を作っていくことになりましたら、より詳しい内容に向けていくために近隣の方、保護者の意見等々お伺いしながらしっかりとしたより良いこども園を作っていかなければならないだろうというふうに考えているところです。</p>

質 問 者	<p>3年前に学童保育の保護者の会長をしていました〇〇〇〇と申します。外国の事で申し訳なくて意見を言おうか言うまいが迷ってたんですが、スウェーデンの事情で勉強する期間がありまして短的に言います。習志野市の人口の半分の町、7万5千人の町が首都の隣にあったそうです。そこで、4,000人のお子さんが保育所に通っている。保育所の数が130あるんだそうです。割り算すると一か所あたり30人です。習志野市がこども園を作って1号目には273人のお子さんが通っていると。ちょっと方向が逆なんじゃないかなということをとっても感じました。長い距離通うお子さん、送り迎えの保護者の方が出てきます。駐車場の問題で、杉の子の場合ですとだいぶめめそうです。そのスウェーデンの町の場合ですと、ベビーカーを押して通うことができると。そういう場合にたくさん作る方策といたしましては、マンションの中庭に面した1階の部屋を保育所にしていくという手法を使っているのだそうです。いろいろ国情が違いますから一足飛びに30人ということは難しいかとは思いますが、習志野では東習志野の1453世帯のマンションが出来るですとか、南口開発でやはり同様のマンションが建つとも考えられます。そういう所に、そういうやり方で新しく保育所が作れないかというやり方ですね。それで少しでも近場に便利な所に人数の少ない行き届いた保育所が出来るように方向転換していったらいいのかなと意見として申し上げたいと思います。</p>
市	<p>一つ、マンションの所に保育所を作れないかということでございます。マンションの開発行為にあたって義務付けることはできません。これは私どもが出来ることは、マンションの中に保育施設を作れないだろうかということで協議をさせていただきまして、相手の任意の協力の中で実現されていくことだろうと思っております。現実的にはそのような努力もさせていただいております。</p> <p>認可保育所と認可外保育所というのが保育施設にはございます。</p> <p>認可保育所は、国の定める児童福祉施設の最低基準で所庭の面積や子ども一人当たりの園庭の面積、あるいは給食室もろもろの施設の配置基準が定められております。そのようなものをすべてクリアしなければ認可保育所の認可は取れないのですが、そのような中で例えば所庭を持たない、施設的には30人以下、国では60人以上が保育所の最低基準ですが、その基準を満たさない施設でも子育てに情熱を持ってあたってくださる施設もございますが、そのようなものにつきましては習志野市も助成要綱を定めまして、積極的に公立だけでは足りない、私立の認可保育所だけでは足りない部分を補っていただく努力をしている所でございます。今後も、そのような施設も、多様なニーズを受け止める形の一つの施設として、私どもも積極的に支援して、又管理・監督していくというふうに思っております。こども園が出来たら一つ保育施設がなくなるんだらうということではございません。こども園とそれ以外として従前の保育施設に民営化されたものもございます。こども園は時間がかかって作り上げていくものであります。だから一気に無くしてしまう訳ではございません。先ほど、どなたかがおっしゃいましたが、7つのこども園になったら保育士がいなくなるだろうと、退職を余儀なくされるだろうと。そういうことではございません。色々な職員数の状況ですとか、社会の子ども数ですとか、そういう社会事情を勘案しながら、これから時間をかけて、7つのこども園を整</p>

質 問 者	<p>理していることに関しては積極的に向かって行くことと思います。計画的に進めてまいりたいと思っております。</p> <p>今、谷津小の2年生の方に子供を通わせています。0歳から菊田保育所の方に6年間通っていたんですけども、先ほど部長から計画を進めていきたいというお話がありましたけれど、3・4年くらい前ですかこども園が東習志野の発足したよという話が、東習志野保育所の保護者の方に聞いた所では、いきなりそんな話が降ってきたと。急にそこから始まって、再編計画が始まったよといったところで。それで、それ以降は私も傍観して状況を見ていたんですが、市民の理解がタウンミーティングもありますけれども、納得感を得て進めていくことができるのだろうかとずっと思っていて、今日も色々質問の回答ということでやり取りしていますけれども、あまり実りがあるやり取りではないのかなと思っています。一体、納得感をこれからどのように築きあげていくのかといったところが疑問でして、今日のパワーポイントの資料でも、市の方からの提案といった形で市民の理解を得ようかという位置づけもあるとは思いますが、そういった所で、私も仕事なんかでお客さんに計画の提案をして納得感を得てもらっていたりするところで非常に苦労したりしているんですが、そういった時は提案する側のこだわり、これを是非やりたいのですと。お客さんに、こういった制約がありますので、どのようにすり合わせていくのかといった所を一生懸命考える訳ですが、そういった所が無いのかなと思います。先ほど、部長からこういうことやりたい・こういうことを実現したいという思いとかこだわりとか言葉で出ているんですが、はっきりした文書だとか良く見えない。具体的に、こうしたいこういうふうにしたいと、その中で優先的にはこういう優先度でやっていきたい。といった所をもう少し明確にして進めていってきたいと。</p> <p>一方では、市民の方からも人によっていろいろな観点で重要視している訳ですが、要望がある中で、市の方に求めるのは大変かもしれないけれど、そういった所も集約して市民のこだわりとしては、どういった所に一番こだわりを持っているんだろうかという所もきちんと整備した中ですり合わせて納得感の得られる形で、今後計画を進めていければいいんじゃないかという意見をさせていただきたいと思います。</p>
司 会	<p>私どもの行政側の力量でしょうか、なかなかするどいご指摘で、非常に反省すべき点があると思います。</p>
質 問 者	<p>上に4年生の子供と、下に年長で杉の子幼稚園に通っております。先ほども話が出ましたが、説明会を幼稚園・保育所で行われていたと思いますが、まず始めに20年4月5日に谷津保育所の保護者説明会で、耐震診断を幼稚園はすべて終わりましたと書いてあるのですが、杉の子幼稚園は終わっていないと検討委員会の説明がありまして、これはどういうことかなという質問と、耐震診断にお金がかかるということですが、子供の命と診断のお金とどちらが大切なのかなという事で多数意見が出ているところです。</p> <p>それから、定員割れということなんですが、来年度入園が70名定員で願書提出者が66名でした。来年入園する方が年長の時に工事が入るということで、予想はたぶん</p>

	<p>減るだろうということだったんですが、予想を裏切ってやっぱり今不況ですから、公立に行かせたいと、たぶんたくさん来られたんだと思うのですが、その辺はどう考えているのか、ご意見をお伺いしたい。</p>
市	<p>杉の子幼稚園の耐震診断の件ですけれど、お話の通り、杉の子幼稚園は終わっておりません。どうするのかというと、保育所は今年度5か所やっております、幼稚園は杉の子幼稚園は今年度耐震診断をさせていただいているということで、まだ3月になっておりませんので、耐震診断の結果が出ていないということでございます。耐震診断の経費と子供の安全どっちが大切なんだといたら、当然子供の安全が重要という認識はしているところでございます。</p>
市	<p>杉の子幼稚園の募集に対して、70名の募集に対して66名という報告が上がっておりますので承知はしておりません。各幼稚園、杉の子幼稚園もそうですけれども地域的な開発で伸びたりすることはございます。ただ、長期的な趨勢を見ますと、やはり減少していくのが趨勢です。杉の子幼稚園も、かつては120名くらいいた時があるんですが、やはり時期を過ぎてしまいますと減少傾向になるというふうに見ていまして、他の幼稚園でもそうです。伸びるんですが、やっぱり減少傾向になると。それからすれば冒頭から言いましたけれども、長期的な視野に立って幼稚園をどうするかということを考えていかなくはいけないというふうに思っております。</p> <p>それで、杉の子幼稚園を入園前の、これから入園したいというお子さん達に説明させていただいて、年長の時に工事が始まって利用しないで卒園しますという前提では申し込んでいただいたと思うのですが、その理由につきましては景気によってやるのかどうかは私どもでは把握はできないところだと思います。</p>
司 会	<p>杉の子幼稚園につきましては、今年度末までに耐震診断結果が出るということが、まず1つご了解いただきたいと思います。</p>
質 問 者	<p>今日は、勉強のつもりで参加をさせていただきました。子供は、おりませんけれども、習志野市内で会社を営んでおります。様々な女性の方が20人くらい、うちでお仕事をしていただいております、若い男性の方もいらっしゃれば、孫がいらっしゃる方も、うちでお仕事をしていただいております。やっぱり多様なニーズがありまして、当社は始業時間が早くて、そういった方は始業を1時間遅らせて会社に来ていただくとか、そういった配慮は当社の方でしているつもりです。十分いき届いているとは思っていませんけれども、そういった多様な子育てのニーズの中で、行政が東習志野こども園に代表されるような一時預かり保育とか、多様な保育のニーズに応えられる施設を作っているということは、習志野市にとって非常にアピールにもなりますし、良い事なんじゃないかなと基本的に思っております。</p> <p>特に先ほど市に財源を生み出しなさいと、先ほど違うパワーポイントをお見せさせていただいて、ご説明を少しいただきましたけれども、確かにあれだけパツと言われても分</p>

<p>司 会</p> <p>市</p>	<p>からない事は分からないのですが、色々とする行政サービス、防災であったり、高齢化社会の問題であったり色々ある中で、その中の1つが子育て支援であると。全体的な最適化という面で見れば、8割方の賛成があって、これは合格だというお話が先ほどありましたけれども、すべてにおいて100%のサービスをするというのは、なかなか難しい事だと思ひまして、ある一定のレベルが満たされていけば、そこから先はちょっと他の方に手伝っていただくかなと、そのレベルの線引きがどこなのかなと思うのですが、子育て支援に関しては、すでに他市でみると幼稚園がたくさんあったり、民間の保育園が私立幼稚園・保育園がたくさんあったりする中で、そういった所に今までは公的なもので補ってきた習志野市の中が、今度は子育て支援、今までと変わらず子育て支援に力を入れていきたいということで、今度からは民間の方の力を借りてやっていこうというのは、非常に建設的で良い話だなあというふうに思ひ、今日聞かせていただきました。</p> <p>そういった事を踏まえまして、より良い子育てサービスの提供は1つのツール、市の運営にとっては1つのツールだと思ひしております。習志野市の町づくりに、どんなこのサービス・この事業がどんな明るい結果をもたらして、習志野市を生き生きとさせるように、施策に結びついていくのかビジョンみたいなものがあればお聞かせいただければと思ひまして、手を挙げさせていただきました。</p> <p>習志野市が、様々な行政サービスを展開しなくてはいけないなかの1つとして子育て支援というのがあるのでしょうか。その中で、これから民間の力を借りながら、子育てサービスを活かしていく、続けていくという中で将来的な展望とうことでございましょうか。</p> <p>私ども、色々な事業を抱えていまして、保育所・幼稚園を始め、子育て支援は各ライフステージに合わせた支援を欠かせないものとなっています。お手元に、ピンクの次世代行動計画というチラシをお配りさせていただきましたが、一番最初のページにございますように、みんなで支えるというのが大きなメッセージでございます。</p> <p>これは、掲げた時には、まだまだ不明確な分りにくいところだったのですが、こども園が出来て、こどもセンターが出来て、それから例えばつどいの広場が出来て、我々知らない所でみんなで育てると言うのが徐々に芽生え始めてきたというふうに感じております。例えば、こどもセンターにつきましても地域の中で色々関わっていただきましてサービスを提供しています。鷺沼のこどもセンターでいいますと、地域の方々です。東習志野こども園のこどもセンターでいいますと、習志野高校の生徒達が来て子育てに参加してくれると、思わぬ効果も出てきています。高校生が小さな子と集って、高校卒業して大学に行き、近いうちに家庭を持つ年代の子ども達に小さな子どもと触れ合い機会を、こどもセンターがツールとしてできたのかなというふうに思ひます。従いまして、これから杉の子のこども園、袖ヶ浦こども園で3箇所目。東部・中部・西部になりますけれども、こちらの方に新たな拠点を作って、私どもは更に、そこにソフトを加えまして、みんなで支える子育ての町を作りたいと思ひております。サービスにつきましては、</p>
---------------------	--

司 会	<p>ピンクのチラシの一番最後のページに目標事業量と、それだけではないのですが、全部で134事業あります。その中で1つ1つクリアをして、みんなで子育てを応援できるような町を作りたいと考えています。</p> <p>習志野市が掲げています、市民と協働のまちづくりという大きな目標があります。又、今の基本構想の中では、最終的な都市像は、市民1人1人が夢と輝きを持って自己実現できる町ということであります。そのためには行政側はあらゆる市民の方、企業の方、各団体の方、それぞれの力を借りながら町づくりを進めていかなければならない。その1つの考え方が子育て支援ということだったのではないのでしょうか。</p> <p>非常に色々なご意見をたくさん頂戴いたしました。すでに時間が16時20分を回った所であります。先ほど、行政の方から今後2回目・3回目ということも申し上げさせていただきました。1回のタウンミーティングの中ですべての方にお答することはなかなかできない部分がございます。ぜひ、私どもは次の機会、もしくはその次の機会を早目に市民の皆様にお知らせしながら、またこういった機会、ご意見を頂戴する機会を続けてまいりたいと思います。</p> <p>大変恐縮ではございますけれど、ここで今日のまとめということで副市長よりお話を頂戴したと思います。</p> <p>(以後、副市長あいさつ。)</p>
--------	--